

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2022~2023年度

R I テ ー マ **IMAGINE ROTARY** イマジン ローターリー

地区運営方針 **再生・新生・共生**

糸魚川ロータリークラブテーマ **ロータリーの心地よさを感じ、ロータリーライフを楽しもう**



週報

糸魚川

2023.2.16
第2934回例会

No.25

(第2933回例会 No.24合併号)

- ◆ 会 長 齊藤 直文 ◆ クラブ会報雑誌 渡邊 博
- ◆ 例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
- ◆ 例 会 日 毎週木曜日 12:30~13:30
- ◆ 創 立 1960年9月10日 ◆ 承 認 1960年10月12日
- ◆ 事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
- ◆ 糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
- ◆ 第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

● 本日のプログラム ●

- ・ 点 鐘
- ・ 四つのテスト
- ・ 会 歌 我等の生業
- ・ 会長挨拶
- ・ 入会式
(有)友スタッフサービス 中林 友幸君
- ・ 幹事報告
- ・ 委員会報告
ニコニコ箱委員会
その他委員会
- ・ 卓話
一般社団法人糸魚川青年会議所
理 事 長 伊井 浩太様
専務理事 牧江 龍郎様
「糸魚川青年会議所1年間の取り組み」
- ・ 点 鐘

次回例会プログラム

- ◇ 2月23日(木) 祝日のため休会
- ◇ 3月2日(木)
糸魚川地域振興局 健康福祉部
主任 志賀仁美様 「食中毒について」

出席報告

- ◆ 2月2日(木) 17名
- ◆ 2月9日(木) 13名(夜間移動例会)

幹事報告

- ◆ 2月4日(土)第2回米山記念奨学委員長セミナーが
ホテルオークラ新潟で開催されました。
出席者 小野垣委員長

◇ 第9回定例理事会開催ご案内

日 時 2月22日(水) 13:30 ~
会 場 ヒスイ王国館 「姫川」

◇ 地区社会奉仕セミナー開催ご案内

日 時 3月25日(土) 13:00 ~ 15:00
会 場 ホテルオークラ新潟
対象者 次年度(23-24年度)社会奉仕委員長

◇ 上越教育大学国際交流のつどい開催ご案内

日 時 3月8日(水) 17:00 ~ 18:30
会 場 オンライン(Zoomミーティング)

◇ 第26回国際ロータリー日本青少年交換研究会 新潟会議開催ご案内

日 時 6月10日(土) 12:00 ~ 受付
会 場 ホテルオークラ新潟
対象者 会長、幹事

ニコニコ箱 2月2日 *****

- 齊藤 直文君 フォッサマグナミュージアム竹之内館長様、本日はご多忙の中お越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。
- 赤星 賢二君 竹之内様、本日は卓話ありがとうございます。地溝の形成と津波の関連勉強させていただきます。
- 小田島修平君 竹之内館長様、卓話楽しみにしています。明日、結婚記念日となります。
- 藤巻 賢策君 竹之内館長様、ご多忙のなか本日の卓話に感謝申し上げます。

❀ ようこそ糸魚川RCへ ❀



堀江 登志雄君
事業所 堀江工業(株)
職業分類 鉄骨加工業
出身地 糸魚川市
生年月日 S56.9.27

❀ どうぞよろしくお願ひいたします ❀

夜間移動例会が開催されました

2月9日(木) 18:30～ 焔凜丸にて

出席者 13名



▲会長あいさつ



▲堀江さん入会



▲美味しくいただきました

先週の卓話 *****

「日本海の津波について」

フォッサマグナムミュージアム

館長 竹之内 耕様



2011年に東北で大きな地震があり津波が発生しました。日本海でも津波の実績があり、日本海側でも気を付けていなければなりません。

日本列島は石でできていて、太平洋側と日本海側のプレートに押しされ日々圧縮されています。プレートの力はものすごく強く、硬い石も壊してしまいます。岩石が破壊され断層ができる時の震動が地震です。身体に感じない小さな地震は毎日起きています。地震による大きなズレは地表まで盛り上がり活断層となります。活断層がある所は大きな地震があった所であり、日本には2,000本以上の活断層があります。海底にも断層がたくさんあります。海底の岩盤が壊れると断層ができ、岩盤が盛り上がると海面も盛り上がり津波の元となり、岩盤が切れ上がると津波が起こります。

海底で起こる地震で津波が起こるかどうかの境目はだいたいM6.8位で、中越地震がそのくらいです。

波の山が長く波の壁がどんどん押し寄せ止めどなく山が通り過ぎるまで水が入ってくるのが津波の特徴です。

また津波は浅い海では波は高く遅く、深い海では低く速くなりますので、沖合では波は低く陸地に来ると高くなるという性質があります。能登や佐渡沖の水深2000mで地震が起きると沖では200km新幹線並み、海岸まで来ると自動車くらいの速度となり押し寄せてきます。

津波の「かけ上がり高」とは波が陸地に乗りあげた所からの高さであり、かけ上がり高何mが避難の目安となります。1993年の北海道奥尻沖の地震ではかけ上がり高が30mとなり、糸魚川で標高30mは糸魚川中学校辺りとなります。基本的には標高10m以上か頑丈な建物の3階以上へ逃げるのが安心と思います。

日本の海底にも活断層が多数あります。名立沖から魚津にかけて活断層がありますが、これが動くところの辺りは大変なことになります。

津波が来るまでの猶予時間ですが、遠い能登半島沖、佐渡沖ですと約20分、近海ですと約3分もしないで津波はやってきます。1分～3分という揺れが収まらないうちに津波はきてサバイバル状態になるのではないのでしょうか。

【まとめ】

陸域で起きた地震では津波は来ない。海域でM6.8以上が起きたら避難行動をとる。M7.3以上では護岸を超えてやってきます。

到達時間20分以内で来るのでM6.8以上の場合、10m以上の所へ移動する。自分が活動している土地の高さを知っておくのも大切なこと。糸魚川市内では市役所、白嶺高校が10mです。自宅、職場、学校、スーパーなど日頃行く所の高さを知り、いざという時のために家族と相談しておきましょう。

◆中央RCコーナー

2月17日(金)

糸魚川市観光協会

事務局長 大久保峰生様

「日本海クラシックカーレビューのこれまでと今後」

◆個人寄付 2月2日(4名11,000円)

氏名	スマイル	R財団	米山財団
斉藤 直文 君	1,000	1,000	1,000
赤星 賢二 君	2,000		
小田島修平 君	1,000	1,000	1,000
藤巻 賢策 君	1,000	1,000	1,000
合計	5,000	3,000	3,000